

令和7年度 音楽科 年間指導計画・評価計画(2年生) No123 東深沢中学校

月	単元・題材	目標・学習内容	評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
通年	楽典	応用的な楽典を理解する。	楽典について理解している。		音楽を理解するための要素に関心をもち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
4	歌唱「夏の思い出」	長年我が国で歌い継がれている歌曲を作曲の背景、歴史と関わらせて学ぶ。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解している。	ふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。	歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わいに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
5	鑑賞「フーガト短調」	旋律と旋律が絡み合う面白さを味わい、パイプオルガンの響きに親しむ。	音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解している。	パイプオルガンの楽器演奏に対する評価とその根拠について考え、よさや美しさを味わって聴いている。	パイプオルガンの構造や音色、響きに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
6～10	合唱コンクールへの取り組み	声部の役割を生かし、全体の響きに調和させて合唱する。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。	楽曲に合った表現法を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	旋律と言葉との関係に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。
11	器楽 アルトリコーダー	器楽「アルトリコーダー」に親しみ、アルトリコーダーの応用的な奏法を学ぶ。	アルトリコーダーの音色や響きと奏法との関わりについて理解している。	アルトリコーダーの音色や旋律、リズムを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現としてどのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	アルトリコーダーの構造や奏法による音色の違いに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。
12	創作 リズムアンサンブル	楽典を総合的に理解し、グループでリズム表現を工夫する。	音素材の特徴及び音の重なり方の特徴について表したいイメージと関わらせて理解している。	楽曲合った表現を工夫して、どのように音楽を作るかについて思いや意図をもっている。	創作活動を楽しみながら主体的・協働的に創作と鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
1～3	卒業式合唱	声部の役割を生かし、全体の響きに調和させて合唱する。	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。	どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	旋律と言葉との関係に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。